

# 山形県の女性の暮らし方、働き方に関するアンケート調査結果

## 概要

### 【対象】

山形県在住または山形県へのUIターン等に関心がある方（学生・生徒を含む）

### 【実施期間】

令和3年11月5日～11月30日（26日間）

### 【実施方法】

インターネットアンケートフォームを活用したオンライン回答募集

### 【回収数】

1,310件（女性1,121件、男性183件、その他6件）

## 女性も幸せに暮らし、働ける山形に

若年女性の転出超過が課題となる中、女性の転出志向や希望する暮らし方、働き方の要素などの女性の現状・ニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。

県内の女性たちから、山形は暮らしやすい、住みやすい、でも「ここはちょっと残念」「もっと良くなるはず」という、なかなか言えないけど、あえて言いたい！というリアルな声が届きました。

今まで以上に暮らしやすい、働きやすい山形県にするために、【仕事・働き方】【家庭生活】【地域・暮らし】を軸にとりまとめました。

## 項目

### 1. 今後の人生で最も長く住みたい場所と生活の満足度【P10】

- Q1. 今後の人生で最も長く住みたい場所とその理由
- Q2. 山形県の生活の満足度

### 2. 仕事・働き方について【P11】

- Q3. 現在の職場の状況
- Q4. 山形県の企業に望むこと
- Q5. 希望する働き方ができる環境
- Q6. 現在の職場での昇進について
- Q7. どのような状況であれば昇進したいか

### 3. 家庭生活について【P13】

- Q8. 役割分担意識について

### 4. 地域・暮らしについて【P13】

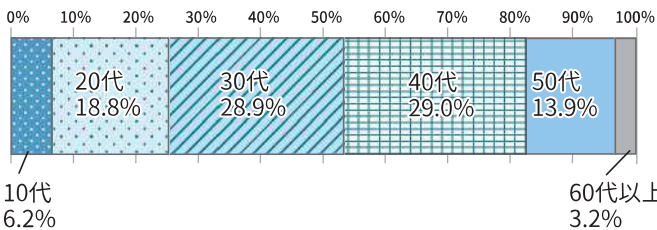
- Q9. 希望する暮らし方ができる環境

### 5. 山形県で暮らし、働くことへの意識について【P14】

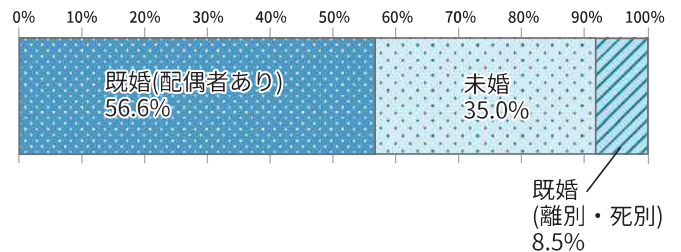
- Q10. 山形県での仕事や暮らしの中でのモヤモヤ

## 回答者の属性(女性のみ抜粋) N=1,121

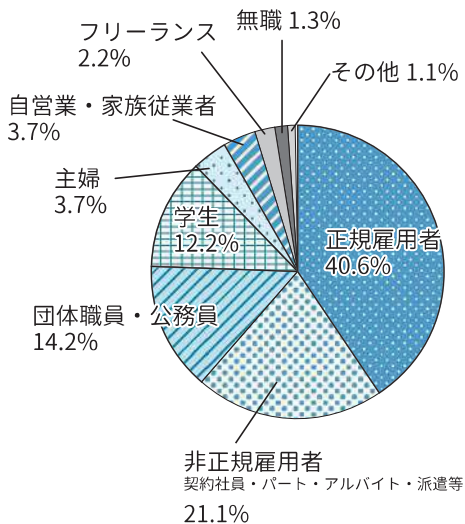
### 年代別



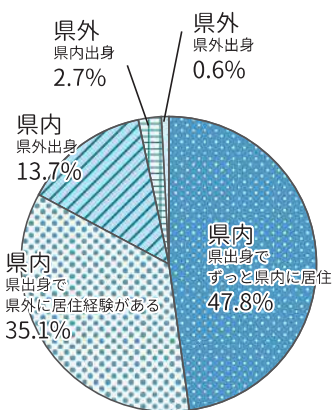
### 未婚既婚別



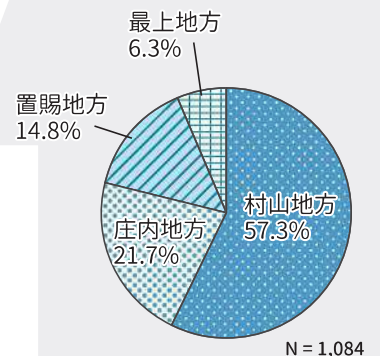
### 職業別



### 居住地別



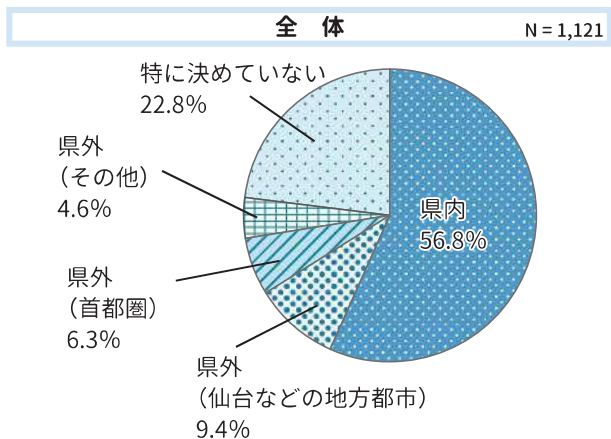
### 県内居住者の内訳



\*アンケート調査結果の自由記述欄等に関し、紙面等の都合により一部編集して掲載しております。

# 01 今後の人生で最も長く住みたい場所と生活の満足度

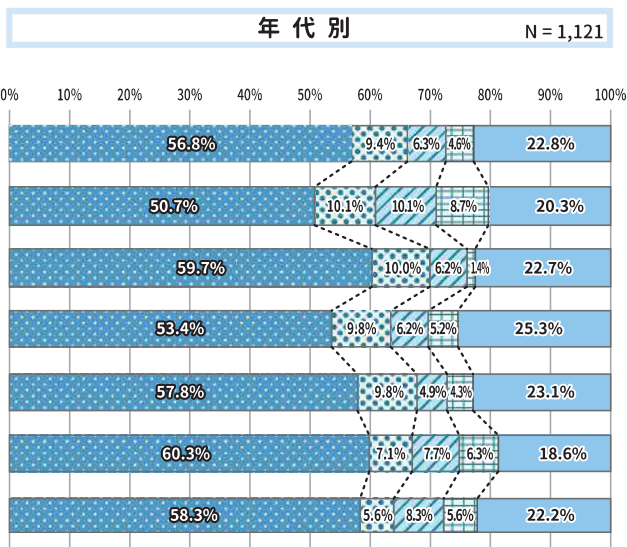
## Q1 あなたは今後どこに住みたいと思いますか？ 1-1 今後の人生で最も長く住みたいと思う場所を選んでください。



半数以上が「県内」と回答し、「県外」「特に決めていない」は各2割。

「県内」が 56.8% と最も多く、ついで「特に決めていない」(22.8%) となっています。また「県外」と回答した割合の合計は 20.3% となっており、内訳としては「仙台などの地方都市」が 9.4% と最も多くなっています。

【グラフ共通色】



いずれの世代も半数以上が「県内」と回答

世代別に見ると、いずれの世代でも「県内」に住みたいと回答した割合が半数を超えたものの、10代は 50.7%、30代では 53.4% にとどまりました。「県外」の回答を合計した割合が最も高かったのは 10代 (28.9%) で県外志向が強い傾向が見られる一方、「特に決めていない」は 30代 (25.3%) が最も高い結果となりました。



## Q2 1-2 住みたい場所を選んだ理由は何ですか(自由記述)

### 県内に住みたい

#### 住み慣れているから、自然環境や食などを重視

- ・実家があり、血縁も友人も子どもの友達も、今の住み慣れたここ山形にその環境があるから。
- ・家族や友達がいる環境で子育て等をしたから。
- ・生活に不便が無く、仙台や東京に行くのも便利になったから。
- ・食べ物が美味しく、温泉もあるから。
- ・自分のスタイルを確立できれば、自然が多く、カナダや北欧のような心地良い暮らしができるから。
- ・災害が少ないから。
- ・家を守らないといけないから。
- ・生活しやすい、通勤が快適、人が優しいから。

### 県外に住みたい

#### 仕事の種類や給与、公共交通、雪の少なさを重視

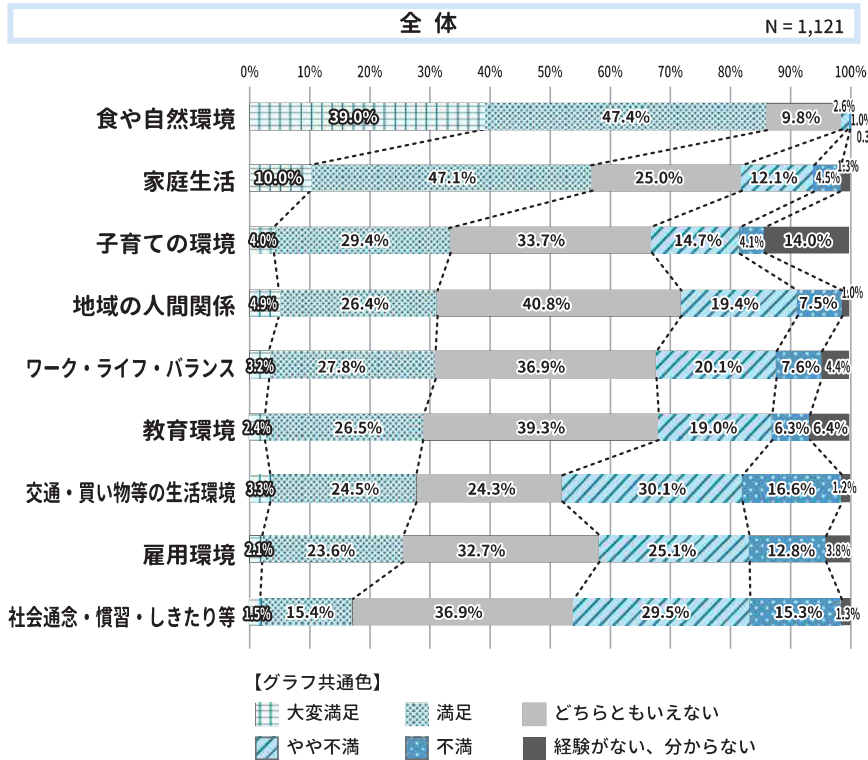
- ・雪が少なくインフラや交通機関がしっかりしている県に住みたいから。
- ・舞台、コンサート、美術館や展示などの文化に触れる機会が多いから。
- ・気候が穏やかな所に住みたい。
- ・就きたい仕事があるから。
- ・友人がほとんど県内に残っていないため、旧来的価値観が残る地縁に配慮して受け入れる必要がないから。
- ・移住してきたが、よそ者をよそ者と言わないところに住みたいから。
- ・仕事が少ない、給料が少ない、不便、子どもが遊ぶ場所が無いから。
- ・教育や仕事の選択肢が多く、多様な価値観が存在するから。

### 特に決めていない

#### 自分や家族の状況に合わせて考えたい人が多い

- ・学びやすい環境で、ある程度はひらけていることや、医療や福祉のサービスが受けやすいことを基準に選びたいから。
- ・自分や家族の状況に合わせて居住環境も決めたいので、「ここにずっと住む」とは決めていないから。
- ・近所付き合いが疲れるから。
- ・高齢者にとって便利がよく、住みやすい場所に行きたいから。
- ・子どもが出来たら自然の中で遊ばせたいが、大きくなるにつれて首都圏の方が生活しやすいと思うから。

## 2 山形県の生活の満足度を教えてください。



### 食や自然環境への満足度が高い一方、公共交通や慣習・しきたり等が不満

「大変満足」と「満足」を合わせた「満足」は「食や自然環境」が86.4%と最も高く、ついで「家庭生活」(57.1%)、「子育ての環境」(33.4%)となっています。

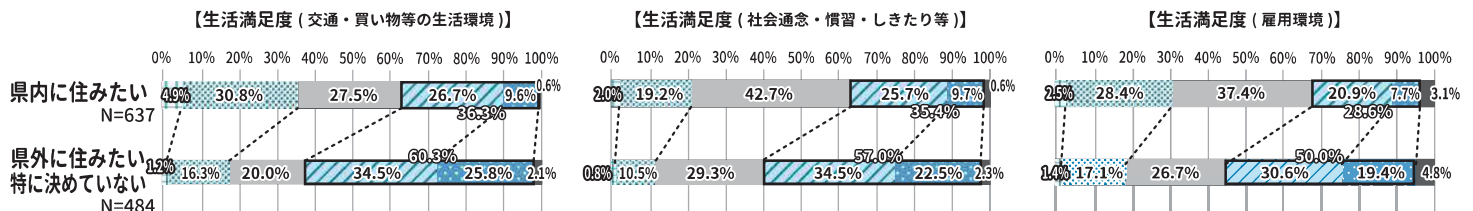
一方、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満」は「交通・買い物等の生活環境」が46.7%と最も高く、ついで「社会通念・慣習・しきたり等」(44.8%)、「雇用環境」(37.9%)と続きました。

#### 自由記述欄の声

- ・食べ物がおいしく、自然が豊かで、人柄が良く、居心地が良い。
- ・ご近所の目は怖いときもあるけど、適度な距離を保てれば、幼い頃から慣れた環境で安心して暮らし続けられている。
- ・子育ても親の協力を得やすく、遊び場が少なくてもそこまで困っていない。

#### 今後の人生で住みたい場所別 (不満度の高い3項目)

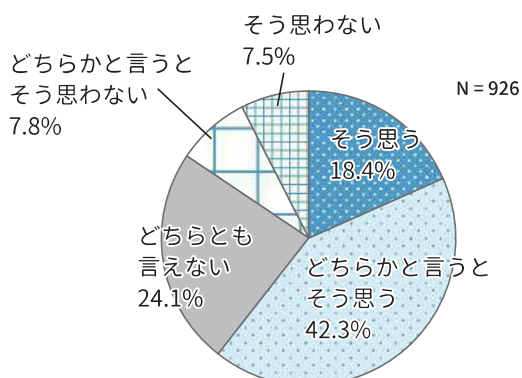
### 生活満足度の低い項目で、県外希望・特に決めていない女性は半数以上が不満と回答



今後の人生で最も長く住みたい場所別では、県外に住みたい・特に決めていない女性は、それぞれ60.3%、57.0%、50.0%と、いずれも県内希望者より20%以上多く、大きな差が見られました。

## 02 仕事・働き方について

### 3 現在の職場は、能力を發揮できる仕事・環境ですか？



### 「そう思う」と「どちらかと言うとそう思う」を合わせると60.7%に

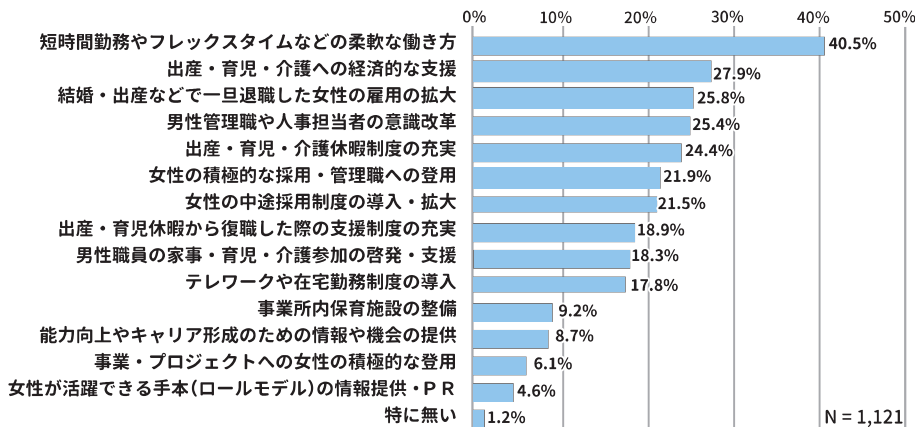
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」が60.7%となっています。一方で、「どちらとも言えない」が24.1%、「そう思うわない」「どちらかと言うとそう思わない」を合わせた「そう思わない」が15.3%になりました。

#### 自由記述欄の声

- ・職場は女性が多く働きやすく、子どものことで休みやすい雰囲気。他ではなかなかこのように充実した福利厚生はない。



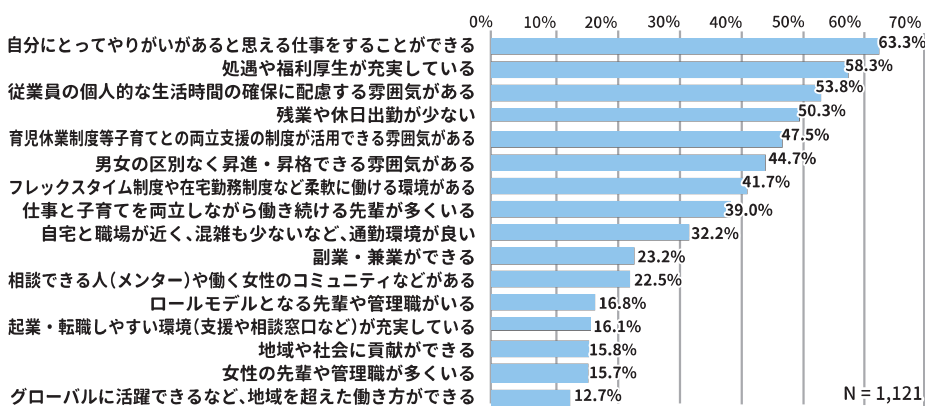
#### 4 山形県の企業に望むことはどのようなことですか？(3つまで選択)



#### 柔軟な働き方や経済的支援を重視

「短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方」が40.5%と最も高く、ついで「出産・育児・介護への経済的な支援」(27.9%)「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」(25.8%)となっており、経済的な支援や制度の充実を挙げる人が多くなっています。

#### 5 希望する働き方ができる環境とは、どのようなものですか？(3つまで選択)

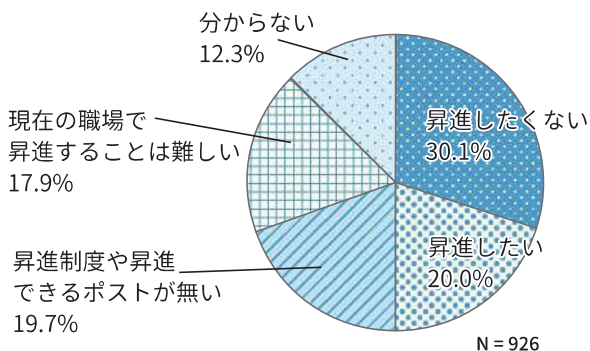


#### やりがいや処遇の充実、ワーク・ライフ・バランスを重視

「自分にとってやりがいがあると思える仕事をする事ができる」が63.3%と最も高く、次いで「処遇や福利厚生が充実している」(58.3%)「従業員の個人的な生活時間の確保に配慮する雰囲気がある」(53.8%)となっており、やりがい、処遇の充実やワーク・ライフ・バランスに関連する項目が並びました。

#### 6 現在の職場で昇進したいと思いますか？

(「昇進」とは、現在より権限や責任が大きい仕事に就くことや、非正規社員の方が正社員に登用される状況などを含む)



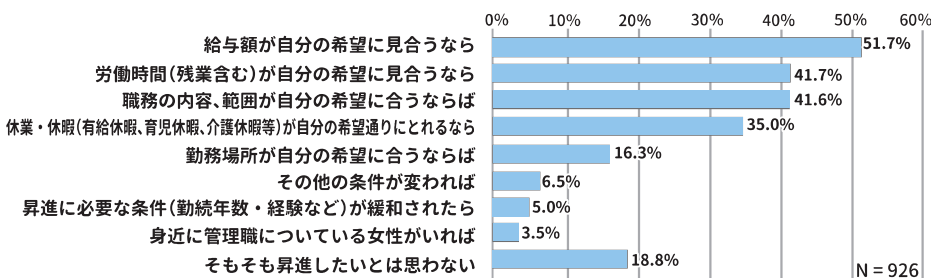
#### 「昇進したくない」が3割にのぼる一方で「昇進したい」と「昇進制度やポストが無い」が各2割

「昇進したくない」は30.1%、「昇進したい」は20.0%となっています。一方で、「昇進制度や昇進できるポストが無い」が19.7%、「現在の職場で昇進することは難しい」が17.9%となり、キャリア形成が難しい環境にある女性の存在が浮き彫りになりました。

#### 自由記述欄の声

・キャリアアップしたいと思うが、残業・休日返上でがむしゃらに働かなければならず、長時間労働は是正など女性の働く環境に目を向けてほしい。

#### 7 どのような状況であれば昇進したいと思いますか？



#### 給与や労働時間などの待遇、職務内容を重視

「給与額が自分の希望に見合うなら」が51.7%、次いで「労働時間(残業含む)が自分の希望に見合うなら」(41.7%)、「職務の内容、範囲が自分の希望に合うならば」(41.6%)となりました。

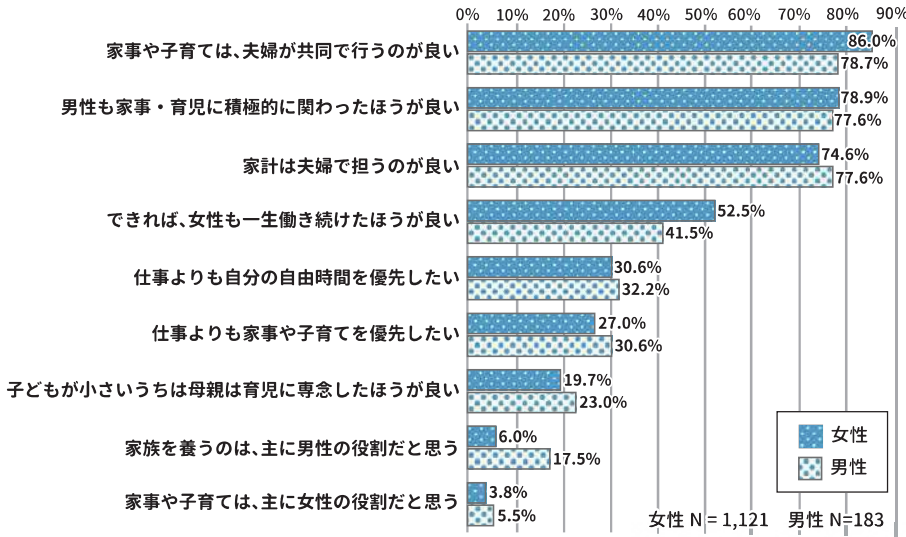
#### 自由記述欄の声

・職場の理解や環境が良くないと、正社員に登用されにくい。

# 03 家庭生活について

## 8 女性と男性の役割分担について、ご自身の考え方を教えてください。(当てはまるものをすべて選択) (本設問のみ、男性にも回答いただきました。)

家事や子育てを夫婦共同で行うのが良いと考える人が8割以上



女性回答者では「家事や子育ては、夫婦が共同で行うのが良い」(86.0%) が最も高く、ついで「男性も家事・育児に積極的に関わったほうが良い」(78.9%)、「家計は夫婦で担うのが良い」(74.6%) となっています。背景として、山形県は共働き率や、働くママの割合が全国トップレベルであることから、多くの女性が家事・育児を分かち合うことを希望していると考えられます。

また、男性回答者も、女性と同じ項目順となっており、男性自身も家事や子育てを分かち合うことが良いと考えていることがうかがえます。

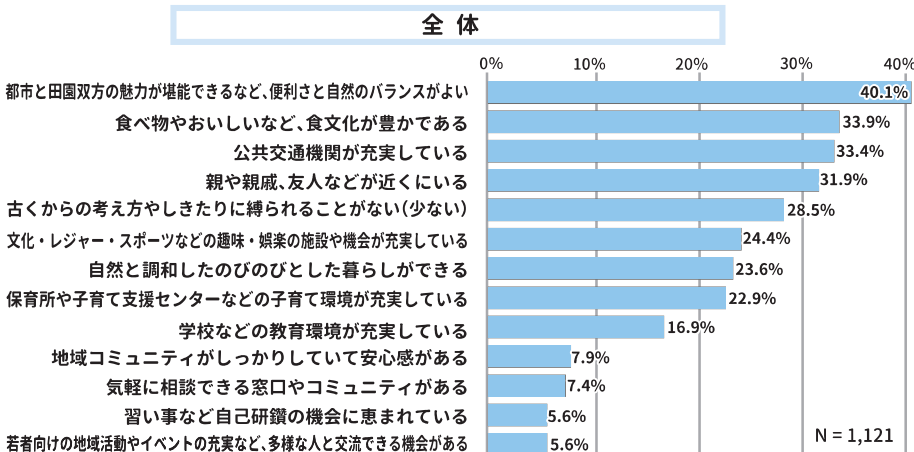
### 自由記述欄の声

- ・若い世帯は、子育てにも二人で向きあうなど、柔軟に自分の立ち位置を見つけている。女性が働き続けるには相互協力が欠かせない。
- ・いまだに結婚して子どもをもつのが当たり前、女性は仕事も家事も全力でやるのが当たり前という考え方が蔓延している。



# 04 地域・暮らしについて

## 9 希望する暮らし方ができる環境とはどのようなものですか？(3つまで選択)

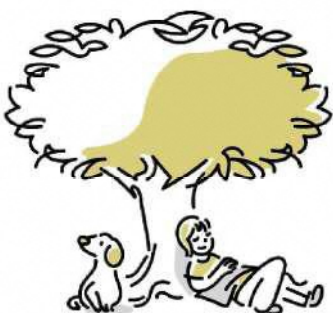


便利さと自然のバランスの良さを挙げる人が40%に

「都市と田園双方の魅力が堪能できるなど、便利さと自然のバランスが良い」が40.1%と最も高く、ついで「食べ物がおいしいなど、食文化の豊かさ」(33.9%)、「公共交通機関が充実している」(33.4%) がとなっています。

### 自由記述欄の声

- ・周りの人も職場の年配者もあまり年齢や性別にかかわらず、のびのびと仕事や生活ができているように思う。
- ・地域の人があたたかく、野菜をもらったりイベントに参加したりと楽しいこともある。



年代別			
	10代・20代 N = 280	30代・40代 N = 649	50代・60代以上 N = 192
1位	都市と田園双方の魅力が堪能できる	都市と田園双方の魅力が堪能できる	都市と田園双方の魅力が堪能できる
2位	子育て環境が充実している	公共交通機関が充実している	食文化が豊かである
3位	食文化が豊かである	食文化が豊かである	公共交通機関が充実している

## 10代・20代は「子育て環境の充実」を重視

年代別の傾向として、すべての世代で「都市と田園双方の魅力が堪能できる」が第1位となった一方、出産と子育てを意識する年代である10代・20代の第2位は「保育所や子育て支援センターなどの子育て環境が充実している」となっています。

今後の人生で最も長く住みたい場所別		
	県内に住みたい女性 N = 637	県外に住みたい 特に決めていない女性 N = 484
1位	親戚や友人が近くにいる	公共交通機関が充実している
2位	食文化が豊か	都市と田園双方の魅力が堪能できる
3位	都市と田園双方の魅力が堪能できる	古くからのしきたりに縛られない

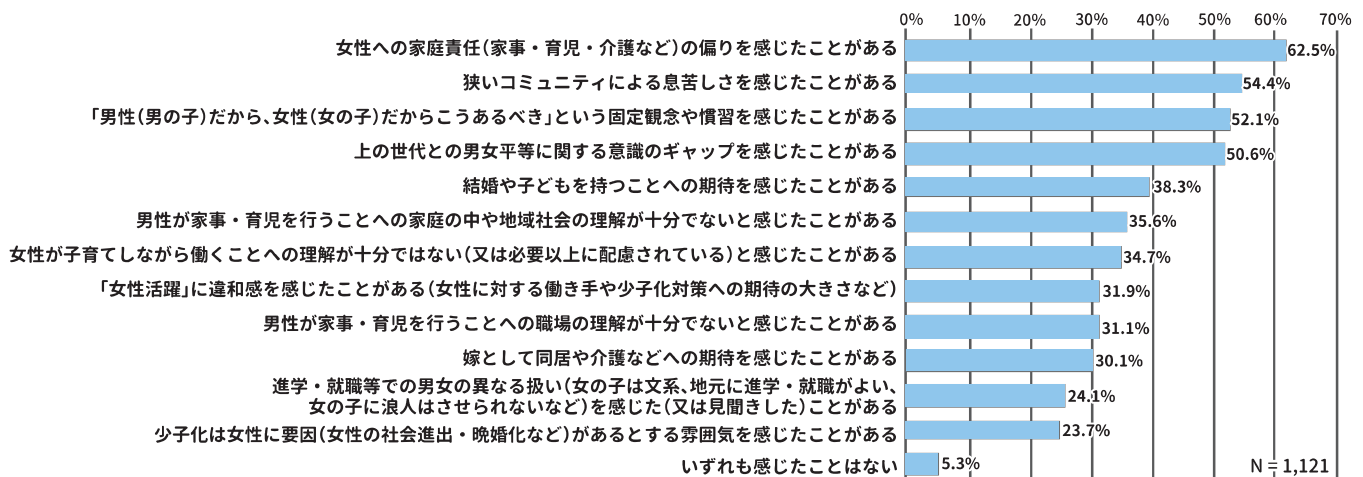
## 県内希望の女性は人とのつながり、県外希望・特に決めていない女性はしきたりの少なさを重視

県内に住みたい女性は「親戚や友人が近くにいる」が1位になり、人とのつながりを重視する傾向が見られました。一方、県外希望・特に決めていない女性は、「古くからの考えかたやしきたりに縛られない(少ない)」が3位になりました。

# 05 山形県で暮らし、働くことへの意識について

## 10 これまでの山形県での仕事や暮らしの中で次のようなモヤモヤ(悔しい、がっかり、残念など)を感じたことはありますか？(当てはまるものをすべて選択)

### 家庭責任の偏りや、固定観念、慣習に違和感を感じる人が半数以上に



「女性への家庭責任(家事・育児・介護など)の偏りを感じたことがある」が62.5%にのぼり最も高く、ついで「狭いコミュニティによる息苦しさを感じたことがある(54.4%)」、「男性だから女性だからという固定観念や慣習を感じたことがある(52.1%)」となっています。また、「上の世代と男女平等に関する意識のギャップを感じたことがある」についても50.6%と半数以上にのぼっており依然として根強い固定的な役割分担意識や性差への偏見・思い込み(アンコンシャス・バイアス※)があることが明らかになりました。

※アンコンシャス・バイアスについてはP15をご覧ください。

### 自由記述欄の声

- ・概ねシニア世代に、性別役割を果たしてこそ好きなことができる、そうでなくては一人前ではない、という考え方を持つ人もおり、それで悩む女性もいるように思う。
- ・長男の嫁は同居し、介護や家庭のことを全てするのが当たり前という考えが根強い。
- ・地域のしきたりや近所づきあいが強すぎてプライバシーがない点が嫌だと思ふことがある。



# 実行委員会 の声

# 04

## 実行委員をやってみての感想

山形へのいろんな想いを  
持っている女性がいると知り  
視野が広がった。

「山形にも未来がある」と  
考えている人が集まる場で  
良かった。山形に帰りたい気  
持ちは強くなった。

実行委員会の活動をきっか  
けに新聞などで地元の情報を  
よく見るようになった。  
こういった活動は、地元を  
知ろうとする原動力になると  
実感した。

若者の流出を食い止め、回  
帰を進めるためにも、若い世  
代に今回の事業の動きを届  
けたい。

自分を取り巻く環境がどう  
したらもっと良くなるか考え  
る機会になり、前向きな気持  
ちになった。

いろいろな人(1ターン、外  
に出た人、山形の人)と話せ  
たのは良かった。普段関わら  
ない人と話せたので、視野が  
広がったように思う。

## 活動を終えて

「女性も幸せに暮らし働ける山形県になるには」を考えました。

一番大切なことは、  
若い女性が「**いろんな選択肢がある**」と感じられること

そのためには…



### 県内外の女性には…

「多様な生き方・暮らし方・働き方をす  
る県内女性の姿」を伝えることが大切

【具体的には】

- ・少し先の「自分」が見えるような、手に届く  
隣の女性をロールモデルとして発信
- ・いわゆる「普通」の枠では収まらない人もどん  
どん紹介
- ・一人ひとり違う「いきいき」を尊重

### 周囲の皆さんには…

若い女性の多様な生き方・選択・価値観  
を尊重し、自分の考えを押しつけないこ  
とが大切

【具体的には】

- ・「女性は結婚して子どもを産むもの」などと  
決めつけない
- ・「女性らしさ」より「その人らしさ」を尊重
- ・既婚・未婚、子どもや仕事の有無に関係なく、  
いきいきと生きられる風潮づくり

性別に縛られず、  
生き方の多様性を互いに認め合える山形県にしていきたいと思いますか？

参考

多様性を  
認めあえる社会にするためのキーワード  
アンコンシャス・バイアスって何？

「無意識の思い込み・決めつけ」のことで、事例として「組織のリーダーは男性の方が向いている」「家事・育児は女性の仕事だ」などが挙げられています。アンコンシャス・バイアスは誰にでもあり、時に自己基準で決めつけてしまうことで、相手を傷つけたり、可能性を狭めてしまうなどの問題が起きる場合があります。誰もがその個性や能力を十分に発揮し、活力ある社会を維持するためにも、決めつけや押しつけに注意し、お互いの意見・価値観を尊重しましょう。



# 女性も幸せに 暮らし働ける 山形県のために

# 05

オンライン 100 人女子会、  
ネットアンケートでは、  
女性の様々なホンネが  
見えてきました。

## 「女性の声」から考える 誰もが暮らしやすい・働きやすい 山形県の実現に向けたヒント

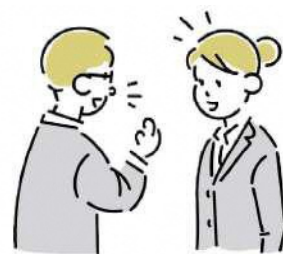
### 職場では

◆ 女性は山形県内の仕事に対して、職種の偏りや都会よりも仕事の種類に限られること、賃金の安さなどへのマイナスイメージを持ち、また女性が仕事で活躍するのは難しそうと感じています。

一方で、「山形には仕事はない」は思い込み「高校までの間にどれだけ山形を知るかが大切」「様々な世代の女性と話せる機会を増やして、選択肢や視野を広げられたら良い」という意見もあり、**早い段階での多様な仕事・働き方・生き方のロールモデル(※)の提示が重要です。また、やりがいや十分な所得が得られる多様な仕事の創出も求められています。**

※ロールモデルとはキャリア形成の上でお手本になる人物

◆ 多くの女性が「仕事で活躍するキャリア」と「プライベートの充実」のどちらも大事にしたいと考えています。女性も男性も能力を十分に発揮していきいきと働き、同時に自分や家族との時間も大切にできるよう**処遇の改善・活躍の場の拡大や柔軟な働き方・男性の育児休業の取得の推進**などが必要です。



### 家庭では



◆ 「女性はこうあるべき」などの決めつけや無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に多くの女性が違和感を持っています。また、**家庭に対する考え方は時代とともに変化しており、「世代間の男女平等の意識のギャップ」も感じているようです。**

多様な女性の「生き方・価値観」を尊重することが大切ではないでしょうか。

◆ 育児に協力的な男性は多いものの、家事・介護などの家庭責任の偏りに負担感を感じている女性は多く、その姿を見て育つ子ども世代への影響も見てとれました。一人一人が「性別に関係なくパートナー・家族とお互い協力しあって生きる」ことができるよう、家庭内での役割分担などを話し合ってみてはいかがでしょうか。

### 地域では

◆ 地域コミュニティ(人と人のつながり)に「安心感」がある一方で、同調圧力やプライバシーのなさなどに「窮屈さ」を感じている人も多くいました。人とつながりは大切しつつ、「常識」や「何を幸せと感じるか」は違うということを頭に置いて、**多様性を尊重していきましょう。**

◆ 若者や女性が参画、発言しづらい、性別や年齢で役割が固定化しているなど、「地域に存在する格差」があるようです。**地域行事の慣習や話し合いの顔ぶれは年齢・性別などに、固定化や偏りはありませんか？**

時には活動を見直したり、活動を持続させるために女性・若い人なども参画しやすい仕組みを作るなど、「これまでやって来たやり方」にこだわらず、**できることから始めていきましょう。**



\*レポートに掲載しているグラフの構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100% にならないことがあります。

### 「オンライン 100 人女子会プロジェクト」レポート

発行日：令和 4 年 3 月

問合せ：山形県 しあわせ子育て応援部 女性・若者活躍推進課

TEL.023-630-3269 FAX.023-632-8238

制作：「オンライン 100 人女子会プロジェクト」事務局（株式会社山形テレビ）

～オンライン 100 人女子会プロジェクトに関するより詳しい情報は、**県 HP** をご覧ください。～

